

からほり新聞

おとな こども 昔と未来 交流盛んに



高津さん好例の夏祭りの獅子舞では、今年は0歳児から90歳近いお年寄りまで100名以上が参加！

桃谷つ子 あつまれ！

八月二十五日の日曜、桃谷会館は多くの親子で終日賑わった。昔の遊びや手工芸を通して大人と子供との交流を図る「桃谷つ子あつまれ」の一日だ。私は連合女性部や多くのボランティアさんたちと共に、自分の出来ることでお手伝いした。ストローを使ったまさつ電気摩、ビール缶やペットボトルに働く大気力などに働く大気力など、家庭にある身近な物を使った理科実験に子供たちは目を見張り、見守る大人も楽しんだ。メンコやまわりつき遊びでは、ご年配の方々とその孫の世代の子らの楽し

げな歓声が響く。他にも、お手玉やおはじき、折り紙などの伝統的な遊びや、うちわ作りなどの手工芸もあり、〇歳の乳児から九十をこえたお年寄りまで、大人と子供が楽しくふれあい、語り合う一日となった。わたしが新米教師だった昭和三十年代は、戦後の国づくり町づくり、大人も子供も大きな目標を持っていた時期で、桃谷連合自治会もこの頃組織された。空堀商店街も繁栄を取り戻すかの様に朝から商いの声で賑わっていた。町は活気にあふれ、出来たばかりの



りの中学校も地域の力で育てられ、今の土台が出来たと思う。大阪の町は万博を境にその姿を変えた。路幅が広がり、路面電車や地下鉄に変わって、古い町屋が高層マンションになる一方、近隣のつながりも希薄になった。そんな中、この界隈も小学校が統合されるなどしたが、跡

限も小学校が統合されるなどしたが、跡地に会館や公園が整備され、これを活用した高齢者の集いやふれあい喫茶、土曜朝市など、地域のつながりを深める催しは定例化している。これは、戦前から受け継がれてきた商人と庶民の温かいふれあいが見られる町だ。今年の夏祭りに獅子舞で参加した子供の数は例年以上で練習の成果は祭りに花を添えた。こうした流れをふまえ、我々は大人と子供が連携して行事に積極参加したい。それが、福祉の促進や住民同士の親睦と化した「地域の活性化」という目標につながるのだから。

久下 謙次

からほり伝言板

◆高齢者外出介助の会の活動◆

★在宅支援活動★
介護保険では依頼できない小さな家の修理や家具の移動など、まずご相談下さい。

★車椅子、シニアカー貸し出し★
高齢のご家族が緊急時の移動などに困られたときにご相談下さい。

★入院支援事業★
入院した時「どうしよう」と悩まれていますか？ご家族に変わってお手伝い致します。入会金、年会費要。時間一〇〇〇円でお手伝い致します。

★生きがい作り講座★
童謡・唱歌を歌う会▼毎月第三水曜日。絵手紙くらぶ▼毎月一回、火曜日に開催。

★歩いて学ぶ大阪の歴史★
今回は十一月二八日。参加費五〇〇円。

★いずれも資料代五〇〇円です
高齢者の外出介助には登録が必要です。安心して外出を楽しんで頂けるようにボランティアが同行します。ボランティアの交通費は自費負担願います。

●お詫び●
五月に発行しました「からほり瓦版」は、すでに同名のものが発行されているとご注意を頂きました。本紙は「からほり新聞」と改め、第2号を発行する事に致しました。関係者の方々には、ご迷惑をおかけしました事を深くお詫びいたします。

◆かみなり亭 寄席
奇数月の第2土曜開催★6時30分開場★会場：薬業年金会館★出演：笑福亭一門他★問い合わせ：06・6768・3549

◆からほり青空市
毎週土曜午前9時～★桃谷会館隣の駐輪場にて※無農薬野菜の朝市！からほりスタンプの使用も歓迎。

◆みんなで集うコンサート9
11月24日(日)午後1時30分開演★出演：男性合唱団「なにわ」★開場：府立ドーンセンター★参加無料。

◆楓ギャラリー
10月15日(火)～10月27日(日)
★今辻 琇子展★作品：平面抽象画
10月29日(火)～11月10日(日)
★新田 佳郎展 一青.bie.一
★作品：立体(土、金属等)★問い合わせ：06・6761・0388

◆からほり まちアート
10月26日(土)・27日(日)
※からほり界隈の路地や長屋を利用したアートイベント。今年は参加アーティストもイベントも大幅増★問い合わせ：06・6767・1906

◆歴史ウォーク
11月10日(日)午前9時30分に四天王寺集合★大阪城本丸で解散(午後3時30分予定)★自由参加・無料★問い合わせ：06・6615・0695

●ベテランヘルパーが
真心こもったケアを致します
■大阪府指定介護保険事業所■ <フリーダイヤル> 0120・50・2828

大阪市中央区上本町西3丁目3-24<空堀商店街>
TEL: 06・6761・3716<代表> FAX: 06・6761・9701

大阪西川チェーン

寝具の白石 LIFE STAGE SHIRAISHI

◆第二号◆
<2002. 10. 15>
◆発行◆
高齢者外出介助の会
〇六・六七六四・四〇〇二
◆編集協力◆
桃谷連合振興町会
空堀商店街振興組合
寝具白石
まさ屋
玉林堂
隆祥館書店
楓ギャラリー
からほり倶楽部
CASE/まちづくり研究所
オ谷屋
空堀界隈のみなさん
題字：宮本幸子
◆目次◆

★一面「桃谷つ子あつまれ」
★二面「伝統と試みに心重ねて」
★三面「快傑！・からほり人」
★四面「からほりお散歩MAP」
★五面「空堀・軍事機密論」
★六面「朝の散歩は歴史の発見」
★七面「からほり掲示板」
からほり新聞はコミュニティ紙です。皆様からのご意見、ご感想、投稿をお寄せ下さい！

上町台地を歩こう！

来る11月10日に「歴史ウオーク」という大阪市主催のイベントが開催されます。からほりの住人が一足お先に体験してみました。

◆朝の散歩は歴史の発見◆

私の日課は散歩です。先日、大阪ゆとりとみどり振興局から十一月一〇日に開催される「歴史ウオーク」のイベント案内を頂きました。四天王寺から出発して大阪城本丸へと至る自由参加のイベントです。途中で私たちの住むからほりも通るそうです。今から楽しみをしています。

わたしはこの夏、毎朝の散歩時に少しずつ同じコースを歩いてみることにしました。史跡を巡り、自分の足で歩いて散策すれば、見慣れた大阪の町でも新しい発見があるかと思つてのチャレンジです。約二週間かけてコース中の史跡を巡りました。上町台地のお寺や神社には、歴史にその名を刻んだ人物のお墓を沢山見つけることができました。「福泉寺」には赤穂義士で有名な堀部弥兵衛と安兵衛の墓、「誓願寺」では江戸の文豪・井原西鶴、「大仙寺」では、淀屋橋に名を留める江戸時代の豪商・淀屋常安など。

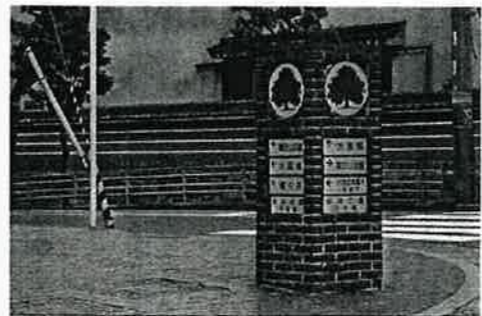
四天王寺は聖徳太子による創建の寺で、古代から現代の歴史の上に立つ出発の地点とも言えましょう。戦乱や衰えの中にも栄枯盛衰があり、人間の生き方も考えさせられるようでした。

藤本

博雅



赤穂義士の墓がある吉祥寺は静かな佇まい。



史跡の多さを物語る谷町7丁目の道標



井原西鶴は何かとこの界隈にゆかりが深い



昭和のはじめ頃。からほりの夏祭りの一コマ。みんなの表情がいい。

伝統と試みに心重ねて

同じく昭和のはじめ頃、からほりのとある路地裏で撮影された一コマ。男の子はキャンディを食べている。

この境界の出身で、しばらく離れていた方などは、異口同音に「この町もえらい変わったなあ」と、口にされた。ここに長年住む私自身にさえ大きな変化に思えばかりです。わたしが経営する書店にも、今迄はお見かけしなかったような茶髪や若者や乳母車に乗せられるお母さんが増えています。古いものや新しいものの調和が町全体の活気となつていくことに、喜びを感じています。

平城京にさかのぼる長い伝統と歴史を持つた町です。古い街並みには明治から大正時代に建てられた木造の家屋が、今も住む人によって大切に保存されています。そんなこの町には、長い歴史に数多きわい話が残っています。新人文学者の登竜門である直木賞にその名を残す直木三十五はこの地の出身です。安堂寺町二丁目の榎木大明神には直木三十五の文学碑があります。また、落語家の初代桂春團治も住んでいたこと、戦災の際、耐火に弱かった大阪では被害が大きくなり、上町台地から玉造に下る一帯は特に酷い有様でした。やがては復興に伴

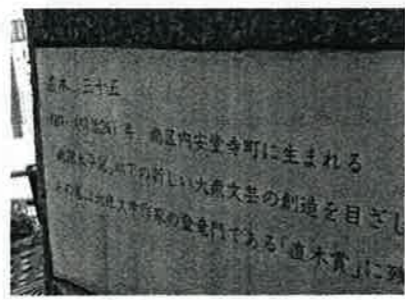
って路幅も広がり、路地を残すところは少なくなっています。この境界の街並みは、古くからこの町に住み守つてきた私たちが、ここにたつた伝統を文化として大事にして、新しい価値観を積み重ねていかなければなりません。古い街並みに注目を集めるには、目を取り囲まれている若い皆さんのエネルギーと融合しながら、この境界の街並みの保存と新たな試みに努力したいと思ひます。



空堀の北、長堀を挟んだ安堂寺町の通りにも古い木造の町屋が数多く残る。



安堂寺町2丁目の榎木大明神。お参りする人も多く、人の流れも多い。



榎木大明神横の傍、長堀通りとを結ぶ石階段の途中にある直木三十五の文学碑。

二村 善明



高齢者外出介助の会

マリンバ 始めませんか！ 教室始めました！

マリンバの調べを聞くと懐かしい昔に帰る気がします
誰でも気軽に演奏が出来ますよ
豊かな時間を一緒に如何ですか

◆指導：北口 桂◆
第37回なにわ芸術祭出演
第49回JXA全国大会出演
・曜日：木曜日（時間相談）
・月謝：5000円
・会場：高齢者外出介助の会

大阪市中央区谷町6-3-10 広橋ビル3F

TEL：06・6764・4002（月、水、金10時30分～午後3時）